

## 第2学年「みがく」学習指導案

授業者 岩坂 尚史

2月16日(木) 2階C室 10:00~10:40 話し合い 10:55~11:45

### 1 活動名 みんなが楽しめるプロジェクトを考えよう

### 2 活動について

本校の低学年教育で特に大切にしている活動は、サークル対話と計画表を用いた個別の学習の時間である。サークル対話は、子どもたちが生活の中で感じたことや考えたこと、興味をもったことを語り合い、聴き合う時間で、このサークル対話から共感や驚き、問いが生まれ、新たな語彙の獲得や学びが生まれることがある。

こうした学びとともに、「みがく」ではプロジェクト型の学習を学級や学年の仲間と協力して取り組んでいる。2年生の1学期は、新宿御苑に校外学習に出かけたことを生かし、学級で新宿御苑をテーマに、クラスごとで話し合い、地図作りや本作りなどの活動に取り組んだ。その他にも、夏の花野菜を育てる活動に取り組み、その観察記録を本にまとめるなどした。2学期は、1年生から取り組んでいる「手しごと」をテーマに、子どもたちと話し合いを重ねながら、畳コースター作りや木工工作など14の「手しごと」に分かれて、校外学習を行った。さらにその学びを生かし、「手しごと」を教え合うワークショップ形式の秋まつりを行った。

こうした学年での取り組みの一方で、サークル対話や個別の学習での興味や問いから出発して、子どもたち自身でも仲間を組織してプロジェクト的な学びが進められ、「風船気球」「まちづくり」「カレンダー作り」などの取り組みが行われた。その中で、自分とは考えが異なる他者と対立したり譲歩したりを経験を積み重ね、少しずつ互いの思いに折り合いをつけながら活動することを学んできている。

本活動は、今までの学習の成果と課題を振り返りながら、3学期のプロジェクト型の学習に取り組んでほしい、また3年生からの学習にも生かしてほしいという教師の願いのもと設定したものである。そのために、今までのプロジェクトを振り返る活動に多くの時間をかけ、よりよいプロジェクトをつくっていきたいと考えている。今までの活動を思い浮かべ、よかった点・改善点を考えながら、子どもたち同士で交流することを通して、自分たち自身で自分たちのプロジェクトをよりよくしたいと思いつながってほしい。

本時の話し合い活動でも、自分と異なる考えの他者に出会った時に、どう自分の思いを伝え、他者と協働しながら学びをつくるかを考えることは、政治的リテラシーの要素にもつながっていくと考える。

### 3 学習活動計画(11時間目/全12時間目)

- 今までのプロジェクトを振り返り、よかったことや課題となることを出し合う。…2時間
- その課題についてどのようにしていくかを話し合う。…2時間
- ファミリー(生活班)ごとに自分たちが楽しめるプロジェクトを考える。…5時間
- 各ファミリーから話題になったことについて全体で考える。…本時1/2時間

### 4 本時の活動について

#### (1) 本時のねらい

異なる他者と共に意見を重ね合わせながら、みんなが楽しめるプロジェクトとは何かを考える。

#### (2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
○各ファミリーから、どんなプロジェクトになったか紹介する。 ○それぞれのプロジェクトの良い点、課題となる点を出し合う。 ○そのプロジェクトが、どうすればよりよくなるかを考える。	○各ファミリーの主張を受け止める。 ○考える際に、他者の視点で考えること、なぜ、そう思ったのか、根拠を出しながら発言するように声をかける。 ○今までの学習経験とつなげて考えるように、支援する

### □授業後の話し合いで話題にしたいこと

- ・子どもたちの生活の中から、政治的リテラシーにつながる要素をどう意味づけしていけばよいか。